

特集

戦後復活70回記念

平和と復興への願いを込めて

仙台七夕まつり

8月6・7・8日開催

毎年、全国各地から大勢のお客さまが訪れる仙台七夕まつり。

今年は、戦争による中断を余儀なくされた仙台七夕が

商店主たちの手によって復活してから70年。

そして東日本大震災から5年目を迎える節目として、

平和と復興への祈りを込め、8月6・7・8日の3日間、

全市を挙げて盛大に開催します。

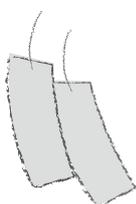
仙台七夕の固有伝統 七つ飾りに願いを込めて

仙台七夕の特徴は、「笹竹ひと竿に5本の吹き流しを下げる」こと、それと「七つ飾りを飾り付ける」ことです。七つ飾りにはそれぞれ意味が込められています。

短冊(たんざく)

学問や書道の上達

今は願い事を書くことが一般的な短冊。もともとは学問や書の上達を願う、詩歌(しいか)などが書かれていました。昔は、カラトリの葉にたまった夜露で墨をすり、その墨でしたためる風習がありました。



紙衣(かみころも)

病氣や災難の厄除け・裁縫の上達

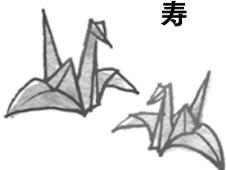
紙でつくられた着物で、裁縫の腕が上がるようにという願いが込められています。昔は幼い子どもが亡くなることも多く、子どもたちが無事に成長するよう、病や災いの身代わりにとという意味も込められています。



折鶴(おりづる)

家内安全・健康長寿

家族の健康長寿の願いが込められています。



伊達の時代から続く伝統

仙台七夕の歴史を振り返る

仙台の七夕は江戸時代から盛んに行われていました。仙台藩主伊達政宗公は七夕にちなんだ和歌を8首残していますし、民衆の間でも「たなばたさん」と呼ばれ親しまれていたことなどからも、当時の人々にとって馴染みの深い行事だったことが分かります。

しかし、明治6年の新暦採用以降、七夕行事は衰退し、大正時代の書物には、幕末当時と比較して「往時のそれに比較する時は到底及ぶところではない」という記述も見られる程になってしまいました。

仙台で華やかな七夕飾りが復活したのは昭和2年。不景気を吹き飛ばそうと、商家の有志たちが「仙台商人の心意気」とばかりに町内一斉に七夕を飾り付けました。翌年には飾り付けコンクールが催され、まちは趣向を凝らした七夕飾りでお祭りムード一色に。この年が、明治以降、仙台七夕が完全に復活した記念すべき年とされています。

その後の戦争で再び中断するものの昭和21年、戦後の暗いムードを払しょくしようと一番町通りに52本の竹飾りが飾られました。今年はこの日から数えて70年ということになります。

今日、仙台七夕まつりは豪華絢爛な笹飾りが市内を埋め尽くす日本一の七夕まつりとして全国に名を馳せています。それも、時代時代の苦難を乗り越え、まちを盛り上げるため、仙台っ子たちが仙台七夕を愛し、伝統を守り続けてきた証なのです。

仙台七夕まつりの歴史

※仙台七夕まつりホームページ、仙台商工会議所百年史より

江戸時代	七まつりを「たなばたさん」と呼び、七夕行事が盛んにおこなわれていた。仙台藩祖伊達政宗公も七夕にまつわる和歌を8首詠んでいる。
明治〜大正時代	明治維新の変革期、特に明治6年の新暦採用とともに全国的に七夕行事が衰微。第1次世界大戦後の不景気を迎えてからはますます寂しくなる一方。
昭和2年(1927年)	不景気を吹き飛ばそうと、商家の有志達が「仙台商人の心意気」とばかりに華やかな七夕飾りを復活。
昭和3年(1928年)	東北産業博覧会の会場に七夕飾りを盛大に飾り付け。民俗学上中歴と呼ばれる8月6日、7日、8日の3日間にわたり七夕まつりを開催。仙台商工会議所と仙台協賛会との共同開催で「七夕連合競技会(飾り付け競技会)」実施。
昭和13年(1938年)	日中戦争の戦線拡大により飾り付け競技会中止。
昭和14年(1939年)	中心部の繁華街をはじめ各町各戸の七夕飾り付け全廃。
昭和21年(1946年)	仙台七夕まつり復活！ 一番町通りの焼け跡に52本の竹飾りが。
昭和22年(1947年)	昭和天皇巡幸。仙台の伝統文化で天皇陛下をお迎えしようと、5,000本にもなる仙台七夕まつりの竹飾りが治道に七色のアーチをつかった。
昭和29年(1954年)	仙台七夕が 8月6日、7日、8日に定着。
昭和45年(1970年)	仙台青年会議所による 第1回仙台七夕花火祭開催。
昭和48年(1973年)	石油ショックの影響で「飾り付け審査」と「ミス七夕」中断。
昭和61年(1986年)	「飾り付け審査」と「ミス仙台(旧ミス七夕)」復活。
昭和62年(1987年)	NHK大河ドラマ「独眼竜政宗」放映。3日間で過去最高の人出を記録(約265万人)。この記録は今も破られていない。
平成27年(2015年)	戦後復活70回目！



昭和27年頃



戦後復活した七夕飾り



昭和12年

巾着(きんちやく)

商売繁盛

紙でつくられたお財布です。富貴を願う、儉約と貯蓄の心を養いました。



投網(とあみ)

豊漁・豊作

漁でつかう網です。仙台は三陸の海の幸に恵まれているのはもちろん、伊達62万石と言われたほどの米どころ。これで豊漁・豊作を願いました。



屑籠(くずかご)

清潔・儉約

清潔と儉約を願います。中には七夕飾りをつくる時に
に出た裁ち屑や紙屑
が入れられ、物を大切に
にする心を養いま
した。



吹き流し(ふきながし)

技芸上達

七夕飾りのシンボリック存在で、織姫の織り糸を垂らした形を表しています。織姫は言わずと知れた機織りの名人。手芸・技芸上達の願いが込められています。





今年の見どころはココ！
仙台七夕まつりを
余すことなく楽しもう！

まつりの期間中は、大小合わせて約3,000本の竹飾りが市内各所に飾り付けられます。

観光パンフレットなどでよく目にする豪華絢爛な飾りは、仙台駅を出てすぐの、中心部商店街のアーケードで見ることが出来ます。和紙でつくられた七夕飾りをかき分けながら歩くのは、仙台七夕まつりの醍醐味です。

一方、周辺部の商店街には、中心部のものよりは少し小振りながら、青空の下でサラサラと風に揺れる飾りたちが立ち並びます。商店だけでなく、子供会や各家庭でつくられた昔ながらの笹飾りは、七夕が地域に根差した行事だということを思い返させてくれます。

期間中、市内の商店街では、それぞれ地域ならではのおもてなし行事で、まちを訪れる皆さんをお出迎えます。

仙台七夕おまつり広場(勾当台公園市民広場)では、今年もさまざまな催しをご用意。ステージイベントや飲食ブースの他、各種参加型のコーナーが展開されています。特に今年は、戦後復活70回を振り返る「七夕伝承館」、大切な人へ想いを届ける「ORIHIME短冊コーナー」、そして「ミニ吹き流し作成体験コーナー」などのお楽しみが盛りだくさん。

仙台七夕おまつり広場

(勾当台公園市民広場～定禅寺通グリーンベルト)

七夕食堂

8/5 16時～21時
 8/6～8/8 11時～21時
 「宮城の美味しいもの」を取り揃えたバラエティー豊かなフードコート。



ミニ吹き流し作成体験コーナー



七夕伝承館

星のステージ

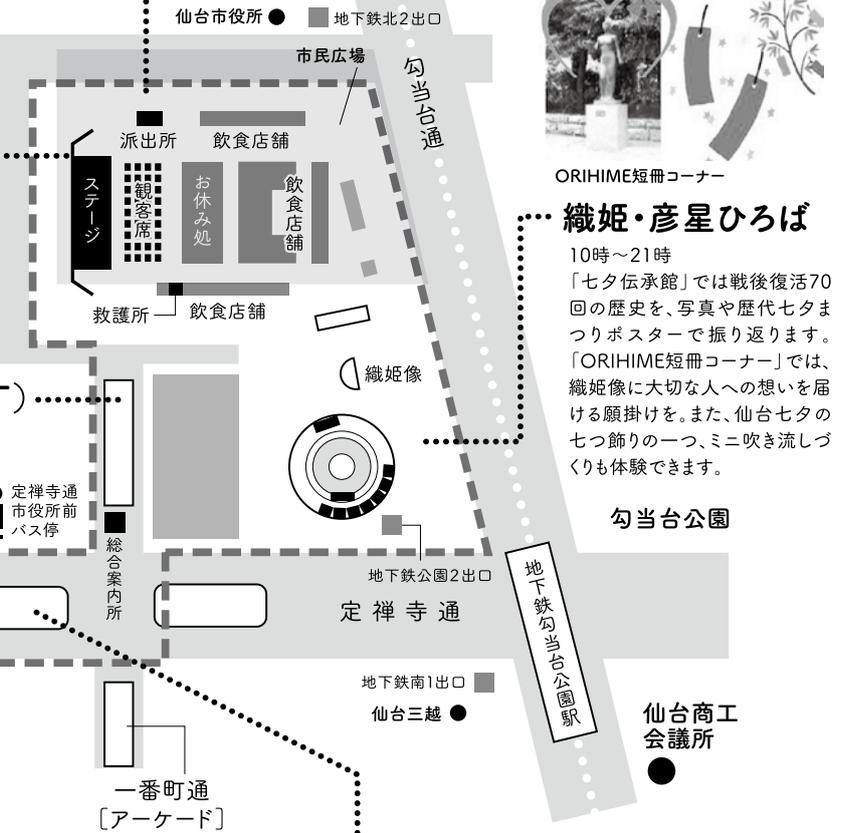
12時30分～20時
 ※8日は20時30分まで。
 宮城で活躍するアーティストや伝統芸能、プロスポーツなどのパフォーマンスが盛りだくさん。



踊りましょう通り(つなぎ横丁)

18時～20時30分
 つなぎ横丁に巨大櫓が登場。みんなで盆踊りを踊りましょう。日中は緑日・おまつり屋台でにぎわいます。

東京エレクトロニクスホール宮城



ORIHIME短冊コーナー

織姫・彦星ひろば

10時～21時
 「七夕伝承館」では戦後復活70回の歴史を、写真や歴代七夕まつりポスターで振り返ります。「ORIHIME短冊コーナー」では、織姫像に大切な人への想いを届ける願掛けを。また、仙台七夕の七つ飾りの一つ、ミニ吹き流しづくりも体験できます。

定禅寺通・星のステージ

けやき並木の下で奏でられるジャズ演奏をお楽しみください。(日中のみ)

祈りの短冊と折鶴

全国から寄せられた短冊と折鶴をご覧ください。

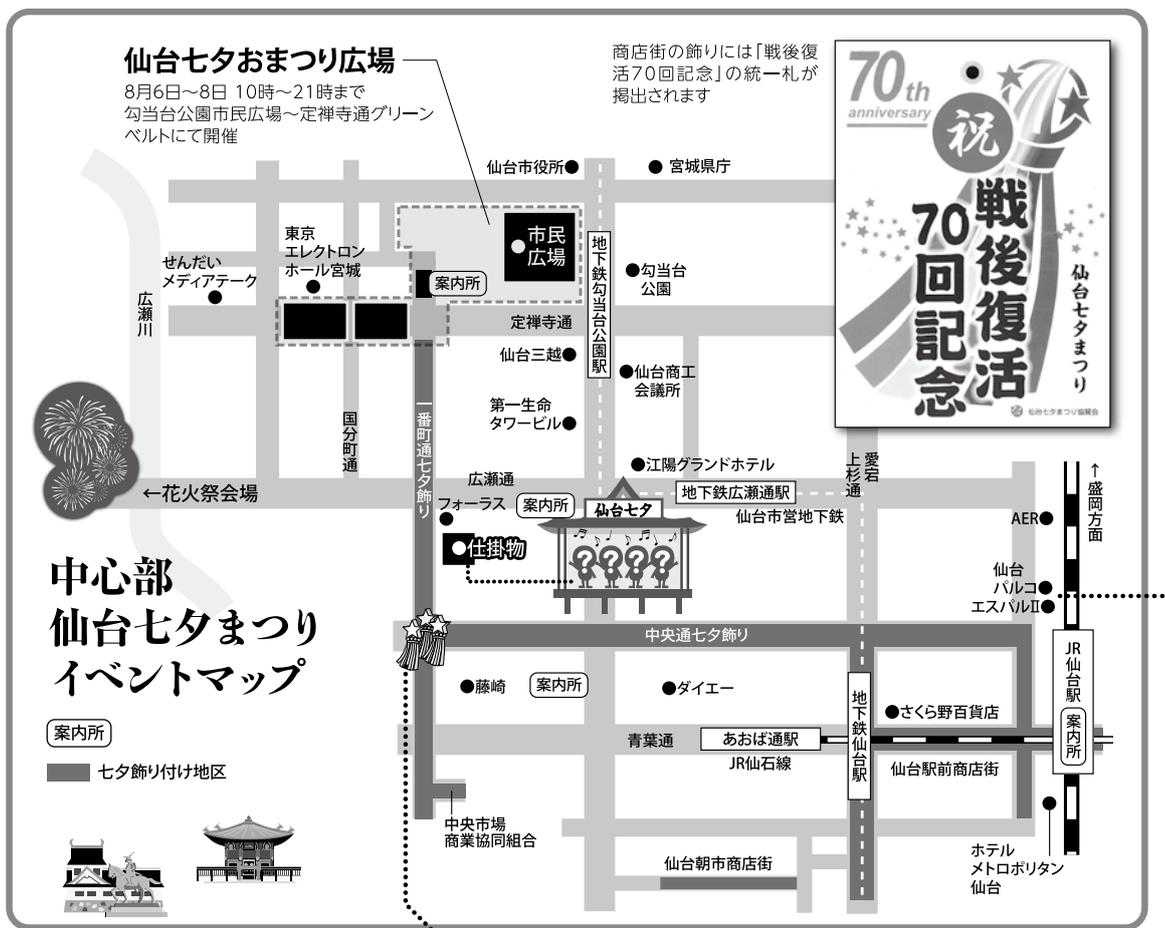
幸せのピンクツリー

定禅寺通グリーンベルトにはピンクの電飾で彩られたツリーが。その先にはハートのアーチも。



※写真はイメージです。

また、定禅寺通グリーンベルトでは、織姫の想いを伝える「天の川回廊」や「幸せのピンクツリ」が登場。仙台七夕の夜を素敵に演出します。ぜひお立ち寄りください。



第46回 仙台七夕花火祭

仙台七夕まつりの前夜、16,000発の花火が仙台の夜空を彩ります。
開催日：8月5日(水)
※荒天時は8月9日(日)に順延
時間：19時～20時30分(予定)
場所：西公園付近一帯



星に願いを、 緑の故郷

市内小中学校の全児童・生徒約8万人が作成した折鶴による七夕飾りが今年もお目見え。ことしの飾りはどんなものか乞うご期待! ※写真は昨年のものです。



仙台城跡 ナイトイベント

政宗公の騎馬像をライトアップ。奥州仙台おもてなし集団「伊達武将隊」による演武も予定。るーぷる仙台の七夕ナイト号も特別運行されます。
時間：17時～20時
※武将隊演武は19時頃(予定)



ウェルカムボード

仙台駅前に歓迎ボードを設置。毎年人気の記念撮影スポットです。



瑞鳳殿七夕ナイト

期間中、伊達家の霊廟「瑞鳳殿」がライトアップ。本殿と七夕飾りが照らし出される様は見ごたえ十分です。
時間：18時～21時
※雨天中止



26年度第5地区金賞
根白石商店会



26年度第1地区A金賞
一番町四丁目商店街振興組合



26年度第1地区B金賞
名掛丁商店街振興組合



26年度第2地区金賞
仙台朝市商店街振興組合



26年度第4地区金賞
連坊商興会



26年度第3地区金賞
原町本通商工親睦会

見どころは、
まだまだあります！
【市内商店街七タマップ】



私たちがお迎えします！
仙台七夕おもてなし隊

七夕見物で訪れる皆さんの思い出づくりのお手伝いに、「仙台七夕おもてなし隊」を今年から結成しました。市内60の企業・団体・大学などから集まった約500人のボランティアが、記念写真の撮影や道案内、仙台七夕の見所紹介など、市内中心部各所で皆さんの七夕観光をサポートします。

仙台七夕飾り付け審査に注目！

仙台七夕まつりでは、商店街ごとの飾り付けを審査する「団体審査」と、商店街の中の個店の飾りを審査する「個人審査」を行っています。それぞれ、まつり初日の8月6日に審査し、その日の夕方に結果を発表。仙台七夕まつりホームページにも掲載しますので、七夕見物の参考にご覧ください（昨年の結果もホームページに掲載しています）。

仙台七夕まつりにいらっしゃい！
全国各地でキャンペーン

首都圏（東京）、名古屋、大阪をはじめとした全国各地で、仙台七夕まつりの魅力をPRするキャンペーンを展開しています。ことしは、イタリアで開催されているミラノ万博でも仙台七夕をPR。「東北復興祭りパレードinミラノ万博（7月11日）」では東北六県が一体となって東北の夏祭りをアピールしてきました。毎年200万人以上が訪れる仙台七夕まつり。市民みんなど七夕を盛り上げ、国内外から訪れる皆さんを笑顔でもてなしましょう！



ミラノ万博の「日本館」の前にはハローキティとコラボした七夕飾りを設置。



7月7日～12日にかけて「銀座・ソニービル（東京）」に仙台七夕飾りを掲出。多くの人たちが往来する銀座の街角で仙台七夕まつりをPR。



このTシャツとバッグが目印。見かけたら、どうぞお気軽にお声掛けください。

仙台七夕まつりの最新情報は「チラシから

【公式HP】

<http://www.sendaitanabata.com/>

【フェイスブック】

<https://www.facebook.com/sendaitanabatamatsuri>

お問合せは TEL 022-265-1818